

障害者雇用の取組紹介 株式会社 CWS

発達障害のある人の就労支援

福祉事業所レストラン

「障害者はたらく応援団なら」の取組

KIZUNA Café

インタビュー
Interview

ハローワーク大和高田

なら中和障害者就業・生活支援センター ブリッジ



奈良県 奈良労働局
(障害者施設で作成しました)

障害者就労支援機関

公共職業安定所

職業紹介等職業に関するあらゆる相談を行います。特に公共職業安定所には専門の職員が配置されていて、きめ細かな相談に応じています。

ハローワーク奈良	〒630-8113 奈良市法蓮町 387(奈良第3 地方合同庁舎内)	TEL 0742-36-1601 FAX 0742-36-1608
ハローワーク大和高田	〒635-8585 大和高田市池田 574-6	TEL 0745-52-5801 FAX 0745-53-4181
ハローワーク桜井	〒633-0007 桜井市外山 285-4-5	TEL 0744-45-0112 FAX 0744-45-3990
ハローワーク下市	〒638-0041 吉野郡下市町下市 2772-1	TEL 0747-52-3867 FAX 0747-52-0406
ハローワーク大和郡山	〒639-1161 大和郡山市観音寺町 168-1	TEL 0743-52-4355 FAX 0743-55-0670

障害者就業・生活支援センター

職業生活における自立を図るために就業及びこれに伴う日常生活、または社会生活上の支援を必要とする障害のある人に対し、雇用、医療・保険、福祉、教育等の関係機関との連携を図りつつ、身近な地域において必要な指導、助言その他の支援を行います。

なら障害者就業・生活支援センター コンパス	〒630-8115 奈良市大宮町 3-5-39 やまと建設第3ビル 302	TEL 0742-32-5512 FAX 0742-93-7712
なら東和障害者就業・生活支援センター たいよう	〒633-0091 桜井市桜井 232 ヤガビル 3階 302号室	TEL 0744-43-4404 FAX 0744-43-4404
なら西和障害者就業・生活支援センター ライク	〒639-1134 大和郡山市柳 2-23-2	TEL 0743-85-7702 FAX 0743-85-7703
なら中和障害者就業・生活支援センター ブリッジ	〒634-0812 橿原市今井町 2-9-19 今井長屋 1	TEL 0744-23-7176 FAX 0744-23-7176
なら南和障害者就業・生活支援センター ハロー Job	〒638-0821 吉野郡大淀町下湫 158-9	TEL 0747-54-5511 FAX 0747-54-5501

奈良障害者職業センター

障害のある人に対して、ハローワーク(公共職業安定所)と協力して、就職に向けての相談、職業能力の評価、就職前の準備訓練から、就職後の職場適応のための援助まで、個々の障害のある人の状況に応じた継続的なサービスを提供します。

奈良障害者職業センター	〒630-8014 奈良市四条大路 4-2-4	TEL 0742-34-5335 FAX 0742-34-1899
-------------	----------------------------	--------------------------------------

奈良高齢・障害者雇用支援センター

高齢者等及び障害者の雇用に関する相談・援助、給付金・助成金の支給申請の受付、障害者雇用給付金制度に基づく申告・申請の受付、啓発等の業務を実施しています。

奈良高齢・障害者雇用支援センター	〒630-8122 奈良市三条本町 9-21 JR奈良伝宝ビル 6階	TEL 0742-30-2245 FAX 0742-30-2246
------------------	---------------------------------------	--------------------------------------

発行元	奈良県健康福祉部障害福祉課 〒630-8501 奈良市登大路町 30 番地 TEL 0742-27-8514 Fax 0742-22-1814	奈良労働局職業安定部職業対策課 〒630-8570 奈良市法蓮町 387 番地 奈良第3 地方合同庁舎 2階 TEL 0742-32-0209 Fax 0742-32-0225
-----	---	---

作成	社会福祉法人ぷろぼの 〒630-8115 奈良市大宮町 3 丁目 5-39 第3 やまと建設ビル 201 号 TEL/Fax 0742-81-7032
----	---



発達障害のある人を雇用



農産加工センターで働く山本さん

株式会社CWSの紹介

株式会社CWSは、市民生活協同組合な
らコープ(以下、ならコープ)の子会社として
2000年に奈良市内に設立されました。設
立当初は、ならコープの店舗清掃業務、電話
注文センター業務をされていました。2010
年に社名を現在のCWSに変更し、ならコー
プのグループ会社として奈良県を中心とし
たテレマーケティング、物流システム、配
送、メンテナンス業務など幅広い事業を展
開されています。

今回、障害者雇用の取組を紹介するのは、
ならコープの農産品の包装、加工、点検等
を行う農産加工センターです。田原本町に
あり、産地や取引先から搬入された農産物
を、荷受け、点検し、袋詰め等を行い、なら
コープ物流センターやならコープの各店舗へ
送り出すための出庫業務までを行っています。

この農産加工センターで働く、発達障害
のある山本政之(やまもとまさゆき)さんの職
場を訪ね、就職されるまでの経緯や仕事への
抱負などについてお話を伺いました。

No.3 2015年2月発行

障害者雇用の取組紹介 Vol.2 1

株式会社CWS
発達障害のある人を雇用



発達障害のある人の就労支援 5

奈良県障害者政策推進トップフォーラムでの講演

福祉事業所レストラン Vol.2 9

cafe みのり
Ohisama Lunch



「障害者はたらく応援団なら」の取組 10

KIZUNA Café 12

「きみと、ずっと、なかま」



インタビュー 第2回 13

ハローワーク大和高田
なら中和障害者就業・生活支援センター ブリッジ

「奈良県障害者雇用促進ジャーナル」は、県内の企業や経済・労働団体等の皆様に、障害者雇用施策や障害者雇用に関する制度、障害者雇用に関する先進事例などを紹介し、障害者雇用に関する様々な情報を共有していただくことができるよう、奈良県と奈良労働局が共同で発行します。

このジャーナルを通じて、障害のある人が一人でも多く就労し、働き続けるための一助となることを期待しています。

是非ともご一読いただきまして、奈良県における障害者雇用の推進に、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

表紙写真の紹介：株式会社CWSで働く山本政之さん

仕事を覚えた!

山本さんは、高校を卒業された後、なら東和障害者就業・生活支援センターたいよう（以下、「たいよう」）の支援を受け、障害福祉サービス事業所で、就労するための訓練を行うサービスを利用していました。事業所では、農作業やクリーンセンターでのリサイクル作業などの他、フォークリフトの運転資格も取得されたとのこと。

その後、数年を経過して、「たいよう」の支援、ハローワークの職業紹介によって、株式会社CWSの前身の会社に就職し、2011年4月から現在の農産加工センターで働くことになりました。

株式会社CWSの専務取締役の藤井昭二（ふじい しょうじ）さんは、「山本さんを採用するに当たり、発達障害のある方とハローワークからお聞きしていましたが、障害のある人を雇い入れるという意識よりは、仕事にやりがいを感じていただけるのであれば積極的に雇い入れをしていきたいという思いから、山本さんを採用することにしました」と話されます。特別なことではなく、仕事に対する意欲的な姿勢があることや丁寧な仕事



(株)CWS 専務取締役 藤井さん

ぶりなど、ご本人の能力を最大限発揮していただくことを大切にされているとのこと。山本さんの上司である同センターの統括補佐、徳原康典（とくはら やすのり）さんは、採用された当時の様子を以下のように振り返られます。

「正直言つて、彼に初めて出会ったときには、あいさつすることが苦手という印象があり、指示することを理解してくれているのかどうか不安に思っていました。しかし、日々の作業を通じて、丁寧に仕事をされていて、指示された仕事を単に右から左に受け流すのではなく、作業の工程を彼なりに消化したうえで作業に取り組んでいこうとする意欲がみられま



フォークリフトを巧みに操ります

した。失敗することがあっても良いと考え、そのときは、『障害があるから、できなくても仕方がない』ではなく、『どこが間違っただけ失敗したのか』をはっきりと指摘するようにしています。ただ、指摘した後は、必ずフォローをしています。失敗を指摘するだけでは、意欲につながらないと思っただけです。

彼には、試行錯誤しながらも、『仕事を覚え

たいノ』という強い思いがあります。失敗を重ねながら、次に生かそうと努力し、手際よく作業に取り組む姿勢が周囲からも高く評価されています」とのことです。

仕事に自信をもつ

山本さんの出勤は早朝6時です。5時には、農産物を載せたトラックがすでに到着して、



真剣な表情で機械を移動させます

ストックルームには、大量の農産物が溢れています。彼は、手際よく検品して、当日の加工作業の計画を確認しながら、段取りを決めていきます。

今は、指示を受けなくても、次の作業のことを考えて、農産物や機械の移動もできるようになりました。以前は朝早く起きることが苦手で、遅刻もあつたそうですが、それ以降ありません。

ミカンやリンゴなどは重さによつては、20kgを超えることが多く、重さに慣れないことから「会社を辞めようかな・・・」と思つたこともありました。今では、重いコンテナを運ぶコツを掴み仕事にも慣れてきたとのこと。

自分なりに何かトレーニングのようなことをしているのかと尋ねてみると、「いいえ、慣れですね」と、きつぱりとした答えが返ってきました。くじけない前向きな意志が伝わってきました。

山本さんは、先にも紹介しましたように、高校卒業後に、フォークリフトの運転資格を取得されていて、コンテナの回収や片付けなどの作業も手際よくされています。

山本さんは、「他の人ができない仕事ができ



笑顔で野菜の袋詰め作業に取り組む山本さん

ることは自信になります」と胸をはります。

お酒が美味しい

かつてはゲームが大好きで、ゲームセンターで長く過ごすこともあつたそうですが、最近では、お酒にはまつて、自分で料理を作つて、仲間とお酒を飲むことが楽しいとのこと。毎日、一生懸命働いているので、お酒が美味しいと思うようになりました」と話されます。また、今年の職場の新年会は、自分でチラスを作るなどして、山本さんが企画をされたそう。職場での人間関係を育む山本さんに徳原さんら上司は、その成長を頼もしく

発達障害のある人の就労支援

奈良県障害者政策推進トップフォーラムでの講演

神戸大学大学院人間発達環境学研究所

教授 鳥居深雪

奈良県では、障害のある人が誇りをもって人生を歩むことができ、誰もが社会の一員として包み込まれお互いに支え合う地域社会の実現を目指し、県内各界のトップが障害者の課題を共有し、取組を推進できるよう「奈良県障害者政策推進トップフォーラム」を開催しています。

本年度は、9月11日に開催し、神戸大学大学院教授の鳥居深雪先生にご講演をいただきました。この講演内容を紹介します。

「発達障害」といっても同じでない

学習障害(LD)や注意欠如・多動症(ADHD)などの発達障害のある子ども達との出会いは、私が、小学校の教諭をしていた時でした。その後、今の神戸大学での仕事に就き、併せて学校という枠ではなかなか収まらない様々な困難さのある方への支援をNPOという形で取り組んでおります。

現在、日本の大学では、発達障害のある大学生の支援が大きな課題となっていますが、まずは、発達障害と言っても同じではないということからお話しします。発達障害の状態像は多様で、その状態像が様々に変わるとい背景がありまして、そのことにより様々な問題が生じています。

ひとつには、複数の障害が併存することがあります。種類、場面によって異なる障害、最近ではうつを併存することも多くなってきています。また、虚

発達障害とは

待に近い環境で育っている場合は、発達障害云々のレベルではなく、もっと大変な問題を抱えていることとなります。行政用語の「発達障害」は、知的障害以外の発達期に生じる障害となつていますが、医学的には知的障害も含まれます。知的障害は、一般的に知的機能が低い水準にあり、IQで概ね70に満たないという基準になっていますが、実際の生活で不応を起しているということが診断する際の基準にもなります。



広汎性発達障害(PDD)は、広い意味での自閉症のグループのことです。アスペルガーは、このグループに入ります。医学的な診断基準では、最近DSMという診断基準が新しいバージョンに変わり、自閉スペクトラム症(ASD)という言葉の方をするようになりました。社会的コミュニケーションと社会的相互作用の困難があり、大人の場合、常識が通じない、目を合せない、会話が続かない、行動・興味・活動の偏りやこだわりなどがあります。また、変化が苦手、柔軟に対応しなければいけないような仕事に困難です。臨機応変にやるのが苦手なので、営業職は大変苦労をすることになります。その他に、職場で問題になるものに感覚過敏などの問題があります。音に敏感で大きな音が苦手であったり、匂いが



インタビューに答える山本さん(左)と徳原さん(右)

思っています。また、以前からバイクが趣味でしたが、1年前にバイクを買い替えて、毎日の通勤に使ったり、ツーリングしたりされているとのこと。

山本さんは、「去年一年間を振り返るととても楽しかった。もっと稼いでもっと良い物を買いたいし、欲しい物を買おうと、また頑張りたいという気持ちが湧いてきます」と嬉しそうに話されます。

当たり前前に働く

山本さんの就労を支援している「たいよう」の村上センター長は、「山本さんは、株式会社CWSに出会うまでは、人との関わりが上手く出来ずに失敗や挫折を多く経験してきました。幾多の失敗を経験しながら、自ら試行錯誤をしつつ仕事を覚え、自信をもって、前向きに生きてきたことが現在につながっています。人との関係づくりが苦手という発達障害の障害特性を、自らの頑張りで、これまでの様々な経験を生かして乗り越えてこられ、支援者として嬉しく思っています」と振り返られます。



自信をもって仕事に向かいます

藤井さんは、「人は誰でも苦手なことや得意なことがあります。企業の役割は、その人が持っている能力を発揮できる場を提供することではないでしょうか。障害者雇用にハードルを感じておられる場合は、まず職場実習を受け入れてみてください。障害のある人もない人も、共に当たり前前に働くことができる社会を作っていくことに企業として貢献していきたい」と意気込みを語ってくださいました。

【会社概要】

商号	株式会社CWS
本社	〒630-8503 奈良市恋の窪1丁目2番地2号
設立	2000年7月13日
資本金	3,550万円
従業員数	754名(H25.5.16現在)

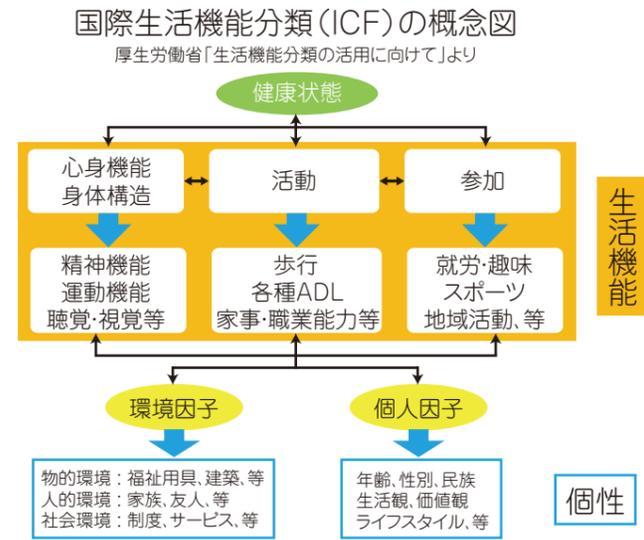
だめであったり、皮膚感覚が過敏であるなど様々な感覚の問題があります。

学習障害（LD）と言うのは、学習能力の障害です。就職して読む、書く場面が非常に多い職場では大変な困難を示すことになります。

注意欠如・多動症（ADHD）は、以前は注意欠陥多動性障害と言っていました。医学診断基準の名前が変わり、注意欠如・多動症となっています。多動性・衝動性と言うのはじっとしていることが苦手であったり、思ったらすぐにやってしまうことです。仕事の中で問題になるのは不注意だと思えます。多動性・衝動性というのは成長に伴って状態像が変わっていきませんが、注意を持続することができないとか、注意を向けることができないことによる失敗ということは大人になってもあります。

また、著しく不器用であったり、字がぐしゃぐしゃになったり、手先のことがかうまくできなかつたりする発達性協調運動症などがあります。

次の図は、WHOが出しているICFと言う国際生活機能分類の概念図です。障害は決して固定的なものではなく、その方がどう環境に置かれているかという環境因子と、その人がどう人かという個人因子によります。個人因子については、社会に出てからも人は成長を続けるわけ



職場で見られる様々な困難

《指示通りにできない》

不注意であったり、注意を集中することが上手くできず指示を正しく聞けていないという可能性があります。長い説明では、途中



ます。仕事場の環境をできるだけすっきりさせて余計なものを置かないようにすることや、視覚的な手がかりを示しておくことが効果的な支援になります。

《片付けができない》

仕事の手順を整理してわかりやすく示します。複雑になつていくと難しくなるので、手順通りに並べると仕事に取り組みやすくなります。

障害のある人だけではなく、他の人にとっても非常に合理的で働きやすくなり、それは結局は仕事の効率アップ、企業の利益アップにもつながると思います。

《タスク管理・優先順位の間違い》

優先順位とか順番が管理できない場合、PCやスマホでスケジュール管理をすることが有効です。予定の変更があるとそれに対応できないという方が少なからずあります。できるだけ予定外の仕事を避けるとか、あるいは変更した後のスケジュールまで調整して指示を出すことで、上手にいくことが多いと思います。

《伝言・伝達、電話対応が困難》

伝言・伝達が苦手、電話対応が苦手というのはよく聞きます。非常に高学歴の方が就職されたが、電話対応がとにかく辛い。こんなことぐらいできるで

す。その人がどういう人に育っていくかということでは状態は変わっていきます。障害がある人は仕方がないということではなく、環境因子・個人因子との関係で状態像は変わります。

しよと言われるが、自分にとってはものすごく辛いという方がいます。電話は相手の反応が予想できないので混乱してしまいます。

《報告・連絡・相談ができない》

報告・連絡・相談が苦手で、そもそも報告・連絡・相談という重要性をわかっていない方がいます。一方では、心の理論の問題があつて、自分が知っていることと相手が知っていることの違いや、相手の立場を理解することが苦手な人もいます。あるいは、上司からの指示というのは受け入れられるが、同僚から言われると上手くいかないということがあります。しかるべき立場の人が重要性を教えるということが効果的です。

《自分を客観視することが弱い》



自分を客観視することが弱く、自分には何の問題もないと思つている状態だと、人の助言は聞けません。職場でミスがあつたときに大事なチャンスで、叱るとか責めるのではなく、今こまがまずかつたね、ここをこういうふうにするとうまくいくんだよという、実際の具体的な事実に基づいて、本人の問題点に気づいてもらうことが重要です。

《気配りや人付き合いが苦手》

気配りや人付き合いが苦手で、空気を読むこと

で注意が逸れるため、指示は短くはつきりと伝える対応が効果的です。また、言われていることの意味が理解できない場合には、わかりやすい言葉でできるだけ具体的に短くはつきりした指示を出すということが必要です。

《ワーキングメモリーの弱さ》

ワーキングメモリーは、記憶の一次的保持と情報の処理を同時に行う機能です。ワーキングメモリーは、デリケートな記憶なので、ストレスがかかるとプレッシャーがかかると、とびやすくなります。このため、「しつかりやらないとだめじゃないか」などと喝を入れられると余計に萎縮してワーキングメモリーが機能しづらくなるので、少しリラクセスするほうが上手くなります。指示の出し方のコツとしては、短くはつきりとした話し方で、できれば指示のメモがあるとカバーできます。遠回しな言い方は伝わり難くなります。むしろストレートにどうしてほしいかということをはつきりと伝える方がわかりやすくなります。

《ケアレスミスが多い》



注意の持続時間が短いとしてもケアレスミスが多くなります。その場合はできれば短い時間で仕上がる仕事をたくさん数をこなすことで上手にいき

が一番難しいので、その場その場での判断が必要な仕事は避けた方がよいです。おしゃべりが苦手だったり、人の目を見て話すことが苦手だったりします。話を聞かないから目を見ないのでなく、相手の目を見ようとすると話を聞くどころではなくなってしまうことがあります。

《「職場の常識」の難しさ》

社会性というのは、非常に複雑で高度な脳の働きが必要となります。例えば、他者と注意を共有する「共同注意の機能」がありますが、これができず、全然違う話をしてしまうということがあります。それから、他者の視点に立つというのがあります。これがわからず、「相手が分からない」ということが分らないということがあります。表情から相手の気持ちを察することが難しく、また、状況の中で重要なものを選んでそこに注意を向けるという意味がわからない。そういった皆さんの複雑な情報を処理して状況の意味をつかむためには、全体をまとめていく力も必要になります。職場の常識というのは、この高度で複雑な脳の働きである社会性を前提に成り立っているので、その難しさがあります。

《職場での付き合いが苦手》

上司と言うのはわかりやすければ、同僚と

福祉事業所 レストラン

障害のある人たちが働いている
福祉事業所が運営しているレストランを紹介します

Vol.2

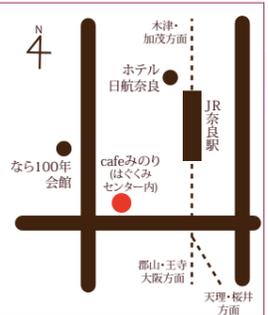
cafe みのり (カフェ みのり)



カフェみのりは障害のある人たちが就労に必要な多くのことを学び、経験できる場として平成23年4月にオープンしました。JR奈良駅から徒歩約4分はぐくみセンター(奈良市保健所・教育総合センター)とアクセスのよい場所にあります。3種類のランチに、オリジナルブレンドコーヒー、クリームで濃厚だけど、さっぱりした口当たりの豆腐チーズケーキや、「小麦・バター・卵」を使わず米粉を使ったバナナケーキは美味しいだけでなくアレルギーの方にも安心でお店の自慢です。ぜひ、お食事にいらしてください。

Cafe みのり

住所:奈良市三条本町13-1はぐくみセンター1階
営業日:月~金
営業時間:11:00~17:00(ラストオーダー16:30)
電話:090-6376-1885
アクセス:JR奈良駅西口から南へ徒歩約4分
近鉄新大宮駅から南東へ徒歩約16分
近鉄奈良駅からJR奈良駅方面行きバス「JR奈良駅」下車、JR奈良駅西口から南へ徒歩約4分



メニュー

Aランチ(日替わり) 650円
Bランチ(ハンバーグ)
Cランチ(チキンソテー) 各600円
カレー
キッズランチ 400円(ハンバーグがお子様用になります)
オリジナルブレンドコーヒー 250円 豆乳プリン 250円
豆腐チーズケーキ・米粉バナナケーキ等 各350円
(ドリンクセット500円)

※その他、紅茶やジュースもあります。
※ランチメニューは+200円でドリンク付きに

Ohisama Lunch (おひさまランチ)

自家農園を持つ「社会福祉法人せせらぎ会」が運営するピュウフェスタイルのレストランです。料理の主役となる野菜は露地栽培や次世代栽培方法「ポットファームシステム」で採れる新鮮な野菜、地元の野菜を使うなど地産地消に努め、味だけでなく食の安全性にもこだわっています。メニューは農園スタッフと相談し、2週間ごとに入れ替わる野菜重視の旬料理。前菜、自家製パン、手作りスイーツは食べ放題。自慢のフレッシュな野菜と、心のこもった料理をお腹いっぱい食べに来てください。



メニュー

ピュウフェランチ
大人(中学生以上) 1,250円
小学生 850円
小学生以下 550円

メインディッシュ2品の中から1品
+
ピュウフェ(前菜、パン、デザートは食べ放題)
+
ワンドリンク(ソフトドリンク)

Ohisama Lunch

住所:大和高田市神楽3-8-8
営業日:月~土(定休日 日・祝日)
営業時間:11:00~15:00
電話:0745-24-5005
アクセス:近鉄大和高田駅より北へ徒歩7分
駐車場:①店舗正面(2台)
②第二駐車場C・F以外
(看板のあるところに駐車をお願いします)

の関係はわかりにくく、助け合うということが難しいです。簡単そうなことが意外に困難で、電話ができなかったり、字義通りの理解をして、周囲との関係が上手くいかなかったり、冗談や嫌味が通じにくいといったことがあります。嫌味を言われていても本人は分らず、「冗談で言ったのに真に受けて怒りだす」というようなこともあって、言葉通りの意味で受け取ってしまうということもあります。職場の付き合いが苦しいということになります。

職場で働き続けるために

《職場で働くための基本的な指導》

しかるべき立場の人が、具体的事実について指導し、ダメ出しをするのではなくてどうしてほしか、こういうふうなやってほしいんだよ、という具体的な行動レベルで指導するほうがハラスメントにならずにすみます。基本的な姿勢として自分の仕事に責任を持つとか、人の役に立とうとする姿勢が大事で、必要なところでは助けを求め、周りの同僚にきちんと感謝する指導が必要だと思います。さらに言うならば、周囲の人への支援というのも重要になってきます。周囲の方を支援して、どう関わっていけばいいかということと一緒に考えていくことで、就労の継続ができると思います。



ヒマワリの花束

発達障害というのはその人の一部であって全てではありません。その人の人となり、また別のところにあります。だからできないことがあってもその人の人柄として、周りの人に助けられてもらって、ありがたいということを言えるような方であれば、できないこと自体が問題ではないと思います。

まとめ

みんなと一緒にというのは手段であって目的ではありません。我々もできないことを持ちながら、社会の中でいろんな人に支えられ助けられて生きているわけです。その人らしく成長し、必要な場面では援助を求めて感謝することができれば、社会の中では生きていけると思います。

講師プロフィール

研究分野:発達障害臨床学
研究課題(2013年度)
・自閉症スペクトラム障害の実行機能と中枢性統合に関連する認知特性の解明(国内共同研究)
・発達障害のある子どものトランジションモデル(個人研究)
・発達障害のある子どもの早期支援(個人研究)
・発達障害児・者に対する生涯発達支援システムの構築(共同研究)

鳥居 深雪(とりい みゆき)
神戸大学大学院
人間発達環境学研究所

一口に発達障害と言っても一人ひとり違います。ジョブマッチングすることにより、その人に合う職場を選ぶことが大切になります。様々な支援制度を利用しながら、障害のある人の就労を支えていただければと思います。障害のある人も貴重な一人です。その貴重な一人に活躍してもらうことが企業の利益や国の利益にもつながります。

この花束は、違う種類のヒマワリが組み合わせられた美しさです。違いがあっても、それぞれの美しさを生かせるような社会になっていけるといいなあと思っています。

「障害者はたらく応援団なら」の取組

「障害者はたらく応援団なら」は、障害のある人の就労に積極的に取り組む企業等を登録し、官民が一体となって障害のある人の就労を支援する取組です。

意見交換会の開催

障害のある人のニーズに応じた職場実習の積極的な受入の拡大や、安心して働き続けるために就労支援機関等と連携した就労定着の支援などを行うための具体的な取組について話し合うため、「障害者はたらく応援団なら」に登録した企業等の担当者が一堂に会して、幅広い視点から意見交換を行いました。

第一回意見交換会

5/27

《主な内容》

- 障害者雇用施策の推進概要についての説明
- 「障害者はたらく応援団なら」が実施する職場実習実施に向けての意見交換
- まほろばあいサポート運動のビデオ視聴



第2回意見交換会の様子 県立高等養護学校にて

障害者就業支援セミナーの開催

8/29

県内の各関係機関が連携し、障害者雇用に関する現状の課題や各機関の取組について、情報を共有するために就業支援セミナーを開催しました。「どのように障害者の「働く」をサポートできるのか」をテーマに講演とグループワークを行いました。

《講演》

「働き続ける」を支える

（登録企業の取り組み）

株式会社ハートフルコープなら
事業部長 竹村 彰氏
社会福祉法人恩賜財団済生会中和病院
人事部長 福本 誠氏

障害者政策推進

トップフォーラムの開催

9/11

県内各界のトップが障害者の課題を共有し、障害者施策を総合的に推進するために障害者政策推進トップフォーラムを開催しました。

第二回意見交換会

12/1

《主な内容》

- 県立高等養護学校の授業見学
- 特別支援教育の推進及び高等養護学校の分教室設置等について説明（県教委学校教育課）
- 応援団が実施する職場実習の実施に向けた計画についての意見交換（奈良労働局職業対策課）

《障害者雇用優良事業所の表彰》

障害のある人を積極的に多数雇用している優良事業所として奈良積水株式会社を知事表彰

《「障害者はたらく応援団なら」登録証の交付》

平成26年度9月登録の21企業等に登録証を交付

《講演》

「発達障害のある人の就労支援」

神戸大学大学院人間発達環境学研究所
教授 鳥居 深雪氏

職場実習の実施

2/2~2/27

企業等に就職した経験のない障害のある人を対象

象に就業体験を目的とした職場実習を行いました。期間は、平成27年2月2日～2月27日までの4週間で県内の障害者就業・生活支援センター登録者及び県立高等養護学校の生徒を対象とし、38名が職場実習に参加しました。実習先としては、「障害者はたらく応援団なら」登録企業・団体11社で、職場実習を受け入れていただきました。

「障害者はたらく応援団なら」登録企業等の一覧 (平成27年2月現在、41社)

製造業	近畿セキスイハイム工業株式会社 ケイミュー株式会社 奈良テクノセンター GMB株式会社 株式会社ジェイテクト 奈良工場 第一化工株式会社 天龍化学工業株式会社 奈良積水株式会社
製造販売業	イズミフード株式会社 佐藤薬品工業株式会社 タビオ奈良株式会社 ラック産業株式会社
金融業	奈良中央信用金庫 株式会社南都銀行
旅客運送業	奈良交通株式会社
宿泊業	株式会社奈良ホテル 株式会社奈良ロイヤルホテル 株式会社ホテルマネジメント(ホテル日航奈良)
小売業	イオンリテール株式会社 株式会社いそかわ 株式会社エーコーブ近畿 市民生活協同組合ならコープ 富士ゼロックス大阪株式会社
飲食サービス業	スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社 日本マクドナルド株式会社フランチャイジー 株式会社アドバンス
印刷業	株式会社アイブリコム
医療・福祉業	ウエルコンサル株式会社 社会福祉法人うねび会 社会福祉法人 恩賜財団 済生会中和病院 社会福祉法人協同福祉会 社会福祉法人清光会 社会福祉法人奈良市社会福祉協議会 社会福祉法人万葉福祉会 万葉苑 社会福祉法人萌
農産物加工業	株式会社ハートフルコープなら
酪農業	植村牧場株式会社
物品リース業	小山株式会社
ビルメンテナンス業	アスカ美装株式会社 株式会社KBS 株式会社シティサービス
宅配業	ヤマト運輸株式会社
その他事業	株式会社CWS

※登録の申込み、お問い合わせは、下記の事務局へお願いします。
登録企業等への直接のお問い合わせはご遠慮ください。

お問い合わせ先

奈良県健康福祉部障害福祉 課障害者雇用促進係
〒630-8501 奈良市登大路町30番地
TEL:0742-27-8514 FAX:0742-22-1814

奈良労働局職業安定部職業対策課 高齢・障害者雇用対策係
〒630-8570 奈良市法蓮町387 奈良第3地方合同庁舎
TEL:0742-32-0209 FAX:0742-32-0225

ハローワーク大和高田



所長 内海敬三氏(中央)、専門相談部門 就職促進指導官・統括職業指導官 實本雅一氏(右)、求人企画部門雇用指導官 三橋康生氏(左)

ハローワーク大和高田は、大和高田市・橿原市・御所市・香芝市・葛城市・北葛城郡・高市郡を所管しており、機械・繊維業やプラスチック部品製造業などの中小企業が多い地域です。

所長の内海さんは、「これまで製造業を中心とした中小企業での障害者雇用が好調でしたが、近年、厳しい経済状況により、これらの企業等においては、大手企業との合併や廃業するところもあつて、雇用状況はますます厳しくなつてきています。しかしながら、当地域においても大型商業施設の進出により、衣料品店やスーパーなど小売業での障害者の雇用が拡大しています」と現状を紹介してくださいました。

また、雇用指導官の三橋さんは、「職場実習を通して実際の職場で仕事を体験することは、障害者雇用を進めるにあたって不可欠な取組です」と力説されます。

企業の皆様には、是非とも職場実習のご協力をお願いいたします。



専門相談部門(障害者、卒卒者等の方の相談)

統括職業指導官の實本さんは、「相談窓口に来られる障害のある人は、精神障害のある方や発達障害の方が増加する傾向にあるので、平成30年の精神障害者の雇用義務化に向けて、障害特性に応じたマッチングの良い職業紹介ができるよう、関係機関と連携した取組を進め、企業への支援も必要と思っております」と話されます。

なら中和障害者就業・生活支援センター ブリッジ



センター長 柏木 要氏

「なら中和障害者就業・生活支援センターブリッジ」は、江戸時代の風情が残る今井町内にある、中和圏域(※)を実施エリアとしています。登録者は350人、連携機関との協力のもとで昨年度は56人が就職されました。センター長の柏木さんによると「以前は実習のお願いに企業巡りをしていましたが、近年はCSR(企業の社会的責任)の広まりや障害者雇用率制度から、障害者雇用に関心をもつ企業が増え、ハローワークを通じて問い合わせが来るようになりました」と話されます。

柏木さんは、福祉系の大学の出身ながら、一度は一般企業に就職された経験があります。後に福祉分野に就職され、6年前のブリッジ立ち上げ時から支援にあたりおられます。「障害者を身近に感じてもらうには、実習



就業・生活支援センターブリッジ

や障害者雇用がもっとも有効ではないかと思えます。同じ職場にいる人たちの継続的な関わりにより、私たちが説明する以上に障害者について知っていただけますし、たとえ「困り事が発生した」場合にも、そこからひとつのきっかけが生まれるのです。

ブリッジでは、障害者と企業への支援をどちらにも偏らないように半々とする方針をとっています。福祉サービスが充実してきている今、企業とつながりを持ち、実習や雇用定着にむけてサポートしていくことが私たちに求められている部分でもあり、この仕事の面白さでもあり、感じています」と、福祉と民間を経験された柏木さんならではの思いをお話してくださいました。

※中和圏域：橿原市・大和高田市・香芝市・葛城市・御所市・広陵町・高取町・明日香村



「きみと、ずっと、なかま」 KIZUNA Café きずなかふえ

おいしいカフェでちょっと一息つきたい。
そんなときは一期一会の出会いを大切に
KIZUNA Café きずなかふえ へどうぞ。
県内の事業所で作られた
色とりどりの商品が集まり、
ひとつのお店になりました。



近鉄奈良駅から徒歩約5分、東向商店街にあるKIZUNA Caféは、県内の障害のある人が働く事業所で作られた、パンや雑貨、お菓子にお土産などのオリジナル商品が主役のアンテナショップとして2010年9月にオープンしました。

ランチタイムに通常のフードメニューを注文すれば「スープ、サラダ、ミニデザート」が無料になります。その他に「和」「洋」の選べる2種類の日替わりランチもお勧めです。

ランチ以外にも、ケーキセットやパフェなどのカフェメニューや、アルコールなどドリンクメニューも充実。女子会や、結婚式の2次会、歓送迎会など少人数から団体様までの「貸し切りプラン」もあります。

物販コーナーの商品は県内の障害のある人たちが手作りで作りあげたオリジナル商品ばかり。大切な方へのギフトにもぴったりです。

丁寧に愛情込めてつくられた商品はどれも真心のこもった手作りならではの温かみや、手に取るとほっとする優しさにあふれています。奈良にお越しの際はぜひ一度お立ち寄りください。



問い合わせ・アクセス
奈良市東向町6番地(奈良市東向商店街内)
奈良県女性センター1F
TEL: 0742-26-2030 FAX: 0742-26-2033
HP: <http://www.sakurashop.net/>
営業時間: 10:00 ~ 19:00(ラストオーダー 18:30)
定休日: 月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)

Menu	
日替わりランチ(和・洋)	¥540(税抜)~
カレー	¥670(税抜)~
オムライス	¥670(税抜)~
パスタ	¥670(税抜)~
ピラフ	¥670(税抜)~
スイーツ	¥580(税抜)~
ドリンク	¥370(税抜)~
アルコール	¥390(税抜)~
ランチタイム(11:00 ~ 14:30)	